

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年09月07日

計画の名称	笑顔と元気！ 住むなら かしば を実現する下水道整備(重点計画)							重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度 (4年間)												
交付対象	香芝市												
計画の目標	将来においても 「住み続けたい」 「住んでみたい」 と思えるまちとなることが目指し、計画的に下水道整備を行い、「笑顔」と「元気」のある活力あふれるまちづくりを進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,693	A	1,693	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)	定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H31末	H28当初	H30末	H31末
1	公共下水道処理人口普及率を66.8%から72.7%へ増加させる。 公共下水道処理人口普及率 = 下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人) × 100(%)	67%	71%	73%			

備考等	個別施設計画を含む	国土強靱化を含む	定住自立圏を含む	連携中枢都市圏を含む	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	----------	----------	------------	------------	-----------

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
庁内の公共下水道事業関連部署により、事業実施状況・指標の達成状況の確認及び評価を実施	令和2年度
	公表の方法
	市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水管渠整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が6.4%増加し、良好な水環境の整備を図る目的を達成することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	香芝市内を流れる葛下川においてBOD負荷量の計測値が減少しており、公共用水域への影響の低減が図られている。
○特記事項（今後の方針等）	
	・今後も引き続き、汚水管渠整備を促進し、下水道処理人口普及率を向上させ、公共用水域の水質保全と快適な生活環境の改善を図る。

